

# 下地挙動緩衝材R

ひび割れの修理はUカット＋充填から緩衝材塗布へ  
処理時のアスベスト飛散リスクを回避し、工期短縮・仕上がり向上に貢献します

## 塗膜の破断を防止

ひび割れ部分の動きを緩衝させて、防水塗膜の破断を防ぎます。

## アスベスト対策

Uカットによる外壁塗材からのアスベスト飛散問題を回避できます。

## 処理痕が目立たない

躯体を削らない施工により、「ひび割れ部」の処理痕が目立ちにくくなります。

### 【耐疲労性】

アトムレジーナ KH-1工法	疲労区分:A2 (1500回振幅で破断なし)
下地挙動緩衝材R + アトムレジーナ KH-1工法	疲労区分:A3 (3000回振幅で破断なし)

疲労試験の工程 (JASS8)		1	2	3
工程	ステップ 温度 (°C) ムーブメント (mm)	20	60	-10
1	0.5 ⇄ 1.0	● → ● → ●		
2	1.0 ⇄ 2.0	● → ● → ●	● → ● → ●	

●: その位置の温度条件でムーブメント →; 試験の順序  
疲労A2; 工程1合格、工程2で破断  
疲労A3; 工程1、2合格



JASS8 疲労試験  
3000回振幅後の状態

### 【ゼロスパンテンション伸び量】

アトムレジーナ KH-1工法	4mm
下地挙動緩衝材R + アトムレジーナ KH-1工法	13mm

幅	50mm
試験速度	5mm/min
穴あきが発生するまでの伸び量を測定	



ゼロスパンテンション試験  
10mm変位時の状態

### ▽用途・荷姿△

種別	1液水性アクリルゴム系塗布型緩衝材
色相	グレー
荷姿	4kg/4L丸缶
用途	壁面ひび割れ処理

### ▽法規制△

法規制	特定化学物質障害予防規則 非該当 有機溶剤中毒予防規則 非該当 消防法 非危険物
-----	--

※仕様詳細につきましては裏面をご覧ください。



## アトムレジーナKH-1工法

工程	使用材料名	塗布量
1	ひび割れ処理*	35 g / m (50mm 幅塗布)
2	防水層塗布	アトムレジーナ サーモ
3		アトムレジーナ サーモ
4	模様層塗布	アトムレジーナ サーモ
5	トップコート塗布	レイズトップ SG
6		レイズトップ SG

## ※ ひび割れ幅による処理方法

## ①幅0.5mm以下のひび割れ

下地挙動緩衝材Rをはけ、ゴムべら等を用いて幅50mmで35g/mの割合で塗布する。下地の吸い込みや付着性が懸念される場合は、あらかじめ下塗りを0.1-0.3kg/m<sup>2</sup>した後、下地挙動緩衝材Rを塗布する。

## ②幅0.5 mm以上、1 mm以下のひび割れ

ポリマーセメント系下地調整材をすり込み塗りした後、下地挙動緩衝材Rをはけ、へら等を用いて幅50 mmで35 g/mの割合で塗布する。

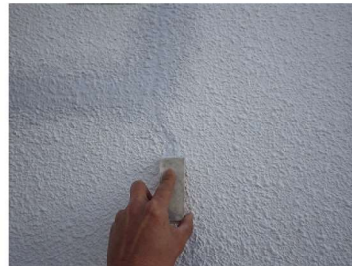
## ③幅1 mmを超えるひび割れ

Uカットシール材充填工法により処理する。

2mm以下のひび割れは下地挙動緩衝材Rのみを用いて処理してもよい。その場合、ひび割れの角部分が薄くならないよう、必要に応じて二度打ちすること。なお、見る角度や日の当たり方によっては、ひび割れ痕が見えることがあります。



はけ施工



へら施工



施工前



施工後

## 注意事項

- ①製品をご使用の際には、製品本体添付の注意事項および SDS (安全データシート)・施工仕様書をよくお読みください。
- ②改良等のため、製品の中身・仕様・カタログの内容は将来予告なしに変更する場合があります。
- ③当販促物に記載されている工法はあくまで設計上の標準値です。施工の際の諸条件によって増減する場合があります。
- ④製品本体およびカタログに記載されている定められた用途以外には使用しないでください。

また、ご使用方法等につきましてご不明な点がございましたら、必ず使用前に当社にお問い合わせください。

**アトムクス株式会社** レイズ事業部  
(アトムレイズ工業会 事務局)

〒174-8574 東京都板橋区舟渡3-9-6 アトムクス(株)内

TEL: 03-3969-3124 (直通) FAX: 03-3968-7300

<http://www.atom-rays.com>